

平成31年度 清明小学校 グランドデザイン

学校教育目標

「清く明るく 豊かな心で 進んで学ぶ 子ども」
心も体もたくましい子ども 友だちに親切にできる子ども しっかり学習できる子ども

【校長の願い】

「清明（校名）」が学校目標であり、地域の願いである。子どもの知りたい欲求に応え、「勉強するところ」と「楽しいところ」が一体化してきたとき、学力も向上する。授業・遊びが全て楽しい、夢のある学校生活ができるようにしたい。

清明小学校教育理念

わくわくと希望が持てる

来たくなる学校

清明の子の約束（生活の基盤）

明るくあいさつのできる子 はっきり返事のできる子 はきものをそろえる子

【清明小学校で願う「めざす子どもの姿」(具体目標)】

シンボル1
自主の校風
(自主)

豊かなかかわりやさまざまな体験を通して、自分で気づき、よく考えて自らたくましく行動できる子ども

シンボル2
神樹の木
(豊かさ)

お互いに認め合う中で自分に自信を持ち、友とのかかわり合いを大切にして、共に学習や生活を楽しむことができる子ども

シンボル3
一心の道
(学び)

自ら見つけた課題を、友と考えをつなぎからめ合いながら追究し、学びの楽しさや高まりを実感できる子ども

重点活動Ⅰ【自主】

【教育活動領域：学びに向かう力・人間性】

- 立腰教育による授業に向かう姿勢と気持ちをつくる。
- 地域の特性（上田城址・商店街・太郎山）、自然、歴史、人を核にして、児童が課題を持ち、地域のよさ、人の生き方を発展的・体験的に学ぶキャリア教育を視点に据えた「ふるさと学習」（総合的な活動・生活科）の推進（主体的）
 - 学級、学年でテーマを決めて実践
 - 太郎山登山・上田城跡公園清掃・児童会（なかよし集会）
- 清明小のよさ、受け継ぐべきもの（精神・姿・伝統）を意識した自主的・探究的な活動（主体的）
 - 3つの約束「あいさつ」「返事」「靴そろえ」・3つのモットー
- 五感を刺激する価値ある体験を取り入れた活動
 - 畑の活動・花づくり、環境を生かした学習活動
 - 積極的な体力づくり：朝マラソン 児童会での呼びかけ

【学校運営領域】

楽しい学校・行きたくて仕方がないという気持ちになる学校

- 地域の特性、自然を核にし、継続的・発展的な取組ができる生活科や総合的な学習の体験活動の計画立案と見直しをもった運営 清明小ならではの「ふるさと学習」
- 個々の意欲や技能を高める外部講師・地域の方との学習
- 全職員で個々の育ちをとらえ、その後の指導に生かしていく音楽会・運動会等の学校行事
- 活動の意味やねらい、活動の成果が伝わり、やりがいを自覚できる教育活動の発信（学校・学年だより、ホームページ、マスコミの活用）
- コミュニティスクールにおけるボランティアとの連携による学習活動の充実
- 子どもの安心・安全を守り、協働・連携の強化 安パト隊・自治会、公民館との連携、学校関係者評価

重点活動Ⅲ【学び】

【教育活動領域：知識・技能等】

- 学力向上に向けた授業の確立（授業改善）
 - 児童理解にもとづいた学習指導 つける力の明確化
 - 一心になって取り組める、個の追究を支える必要感のある学習問題と学習課題の設定（主体的）
 - 学びの足跡が見える板書の構造化
 - 「聴く力」「読み取る力」「思考力」を育む実践的な指導
- グループ学習やペア学習による話し合い活動の充実
 - 意欲の高まり、友と練り上げる追究
 - 考えを自分の言葉で表現する場を増やす（対話的）
- 個の学びの充実を図るTTや少人数学習の充実
 - 学びの継続を目指す小中での連携
 - 個の考えのよさを生かす算数少人数指導・TT
- 授業における学習内容の定着（深い学び）
 - 感動のある学習指導 美しい言葉・正しい言葉・学びや成長の実感できる学習の確かな見とどけのため、授業の終わりに振り返りの時間を位置づける
- 家庭学習の効果的実践・継続・保護者との連携
- 学んだことを生活に生かす。（深い学び）

【学校運営領域】学びの主体者としての子どもを育てる

- 教材研究・教材の開発、課題を明確にした授業づくり、自己研修課題の共有
- 子どもを中心に据えた実践的授業研究の推進
- 子どもや互いの取り組みを理解し合う二中との連携
- 職員の専門性を生かし、個々の学びの充実を目指したTTや少人数学習による指導の充実
- ユニバーサルデザインを意識した落ち着いた教室環境
- 食生活・生活リズム等についてのPTAとの協力・食育の一層の推進、学校保健委員会の充実
- 特別支援教育・人権教育等の各種研修や授業研究を位置づける。

重点活動Ⅱ【豊かさ】 【教育活動領域：思考力・判断力・表現力等】

- 挨拶・返事・靴揃え の実践（主体的）
- どの子にも自分の居場所があり、学級の中に居場所のない子どもを作らない
 - 友のよさやともに学ぶ楽しさを感じられる授業や学級づくり・友だちづくり・歌声づくり
- 「人を人として大事にする」人権同和教育・道徳教育の日常的な取り組み
 - 清明小なかよし宣言の実現 ・自尊感情や自己肯定感の高揚
- 相互理解や関わりを深める交流教育の構築
 - 清明なかよし祭りでの交流 ・たんぽぽ・ひまわり学級と他学級との交流・理解
- 全校や地域に働きかける児童会活動や縦割り班活動（主体的）
 - 児童会活動の活性化 ・挨拶運動 ・アルミ缶集め（車椅子贈呈）・太郎山登山 ・上田公園落ち葉清掃

【学校運営領域】一人ひとりがより大切にされる学級・学校

- 個々の児童理解をもとにした個に応じた見直しのある継続的な支援
 - 心の相談員・特別支援教育支援員の効果的な配置と活用
- 他とのかかわりを深め、自他のよさに気づき、共に学ぶよさが感じられる人権同和教育の推進
- 子ども一人一人を生かす学級経営・学年経営 明るく楽しい教室をめざす 1日1回はすべての子どもに声をかける
- 「命の大切さ」「自他の存在の大切さ」「人の生き方や行為のよさ」に気づく道徳教育の推進
- 思いやりやかかわり、奉仕の心・福祉の心を育てる児童会の運営
- 子ども同士の豊かなかかわりを保障し、全校で協働して取り組める活動の位置づけ
- 学校評価により、活動の振り返りと見直し
- 家庭と心のこもった連絡を取り合う

すべての活動を支えるもの

- 【子どもの姿】・子どもたちのもつ明るさ・素直さ、他を受け入れる柔らかさ・温かさ ・学ぶこと追究することに喜びを見出し、主体的に活動を生み出す意欲や力
- 【教師集団】・清明に誇りを持ち、自主の校風を教師自らが率先し、気づき示す教師集団 ・温かな目で子どもをとらえ、全職員で助け合い高め合って子どもを育てる気風
- 【保護者】・地域の学校としての愛着や伝統校として誇りをもって協力する保護者・保護者による基本的な生活習慣の確立（早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち）・学校の課題に対して応援していただける保護者集団
- 【地域】・地域の学校としての愛着や伝統校として誇りをもって協力する地域の方々 ・子どもの健やかな育ちや安全を願い、見守り支える地域